

5/9~11

**松本市長が上京し
要望活動を行いました**

松 本市長は、ボートレース関係団体や文化庁、外務省などを訪問し要望活動を行いました。

9日は、ボートレース関係6団体を訪問し、日本財団へ東日本大震災の義援金を渡しました。各団体からは、「大村ボートレース」の経営努力を高く評価していただき、市長は、SGレースの3年連続開催などを要望しました。

また、黒丸踊りの国指定についての要望や駅前再開発に関する協議なども行いました。



5/17

**国道34号等大村市内幹線
道路整備促進期成会総会**

大 村市の幹線道路の整備促進を図るため、市や商工会議所など12団体で組織する「国道34号等大村市内幹線道路整備促進期成会」の総会が行われました。

総会では、国道34号の国立医療センター入口交差点から久原2丁目交差点付近までの拡幅工事が完了し供用開始されたことや、久原池田線や池田沖田線の全線が県道認定されたことなどが報告されました。

同期成会では今後も協力し、国道34号の渋滞緩和や幹線道路網の早期整備を目指して、国や県に対して要望活動を行っていきます。



5/26

**災害に備え連携強化
を再確認**

梅 雨の時期を前に、副市長をはじめ、県央振興局、警察署、消防署、消防団などの関係団体が、市内の河川の状況を視察しました。

雨が降る中、郡川やよし川の改修工事現場を訪れ、それぞれの担当者に現在の管理状況の説明を受けました。

午後からは、松本市長や委員40人が出席し、大村市防災会議が行われ、「大村市地域防災・水防計画」の主な改正点の審議や、昨年度の災害実績などが報告され、災害に対する連携強化を再確認しました。



5/31

杭出津浄水場が完成

老 朽化した旧杭出津送水ポンプ所の建て替え工事が完了し、杭出津浄水場からの給水を開始しました。

これは近年の少雨傾向で、萱瀬ダムの取水制限が頻繁に行われ、市の水事情が逼迫する状況になったことから、既存の水源の活用を図るために行ったものです。

新施設では、安全な水を供給するため紫外線処理設備を設置し、主に大村駅付近から久原方面の地域にかけて、1日あたり2,440m³の給水が可能となりました。



6/10

**濱田謹吾銅像建立
25周年記念式典**

濱 田謹吾少年の銅像建立25周年を記念して、松本市長、辻市議会議長をはじめ、姉妹都市の秋田県仙北市側からは門脇光浩市長、佐藤肇夫市議会議長などが参加して記念式典が行われました。

この銅像は、戊辰戦争で大村藩から出兵し戦死した濱田謹吾少年などの戦没者を慰霊するため昭和61年に建てられ、この歴史的背景が縁で、市は角館町（現仙北市）と姉妹都市を提携しました。

式典に参加した皆さんは、戦没者の冥福を祈り、今後ますますの交流と親善を深めることを確認しました。

